

環境保全報告書

マ・マーマカロニ株式会社・神戸工場

● 環境への負荷量(地球温暖化対策については、電気・燃料等の使用量、二酸化炭素排出量及びその他温室効果ガスの排出量)

2018年度実績			
エネルギー使用	使用電力量	7,041,726 kwh	省エネ法に基づく実績値
	購入蒸気量	12,577 t	
	自家発電軽油使用量	0 L	
	総エネルギー使用量	2,220 KL(原油換算)	
	エネルギー原単位	136 L-原油/t-製品	
CO ₂ 排出	エネルギー起源排出量	4,997 t-CO ₂	省エネ法定期報告に基づく実績値

● 環境保全計画に定めた管理目標値等の達成状況、その増減に関する評価、説明等

CO ₂ の削減対策状況				
事業年度	エネルギー起源排出量	前年対比	CO ₂ の削減活動	評価・説明など
2015年度	3,537 t-CO ₂	84.4%	【業態変更年度/ドライパスタから冷凍パスタへ】 ドライパスタ製造から冷凍パスタ製造への業態変更による環境関連項目への影響について動向調査	○業態変更による生産量減によりエネルギー総量は減少
2016年度	4,923 t-CO ₂	139.2%	【業態変更後/冷凍パスタ製造年度】 冷凍パスタのみ製造時の環境関連項目の動向調査	▲生産量増によりエネルギー総量は増加 ○生産量増によりエネルギー原単位は減少
2017年度	5,376 t-CO ₂	109.2%	【冷凍パスタ製造】 冷凍パスタのみ製造で増産時の環境関連項目の動向調査	▲生産量増によりエネルギー総量は増加 ○生産量増によりエネルギー原単位は減少
2018年度	4,997 t-CO ₂	93.0%	【冷凍パスタ製造】 冷凍パスタのみ製造で増産時の環境関連項目の動向調査	▲生産量増によりエネルギー使用量は増加 ○関西電力の係数が好転した影響大

*担当行政への届出値

エネ起以外のCO ₂ の対策状況			
該当する温暖化ガス	CO ₂ 換算排出量	用途	管理状況
家庭用機器の使用	0 t-CO ₂	空調機、冷蔵・冷凍庫	配置状況管理、廃棄に際しては家電リサイクル法に基づく処理を実施
HFCが封入された製品の使用	99 t-CO ₂	冷凍機、冷却装置、冷蔵・冷凍庫、空調機	使用ガスのメンテナンスについてはフロン排出抑制法に基づく管理を実施 冷凍機の冷媒漏れで排出、関連設備状況の点検管理を強化

その他対策活動の状況

2018年度活動計画		2018年度活動状況
環境改善活動	エネルギー起源CO ₂ 排出目標の達成とCO ₂ 排出原単位とエネルギー原単位の低減	製品1食あたりの重量が軽いアイテムが増え、重量原単位では悪化となった。(年間の総重量は前年より増加) 電力の換算係数が好転した影響で、CO ₂ 排出量は好転結果となった。
	廃棄物の削減による廃棄物原単位の低減	突発なライン停止回数が減ったこととライントラブル時の処置対応が速やかになり、廃棄物量と原単位は低減した。
	法令順守及びグループ方針・通達等への確実な対応	環境管理項目については月次単位でチェックし、各種要求事項が順守されていることを確認した。関連法令に対する届出、報告を実施した。
環境維持活動	一般的な省エネ活動の推進	生産性の改善過程、増産状況下での環境管理関連データを収集した。
	構内緑地維持活動	契約の造園業者による定期剪定作業で、構内の緑地を維持している。
	給・排水の管理	使用水量、排水量は日常～月次管理により状況を把握している。排水の量と濃度については処理委託先との契約値に合わせた一次処理を実施している。
	産業廃棄物、有価廃棄物の適正な管理	電子マニフェスト管理による産廃の排出管理を継続している。 産廃処分場や有価物引き取り業者に対して定期的に現地視察を実施し、適正な取り扱いが行われていることを確認している。
	ISO14001推進活動、教育活動全般	ISO14001活動として、内部監査、マネージメントレビューを実施した。環境教育活動としてISOニュースの発行、内部監査教育などを展開した。
	環境関連法令など要求事項の遵守	ISO14001の仕組みとして、環境関連データの月次チェックと内部監査に於ける法令順守状況を確認し、法令要求の定期確認と遵法性確認を実施した。

2019年度
環境保全計画書

マ・マーマカロニ株式会社・神戸工場

● 環境保全に関する基本方針(基本理念)

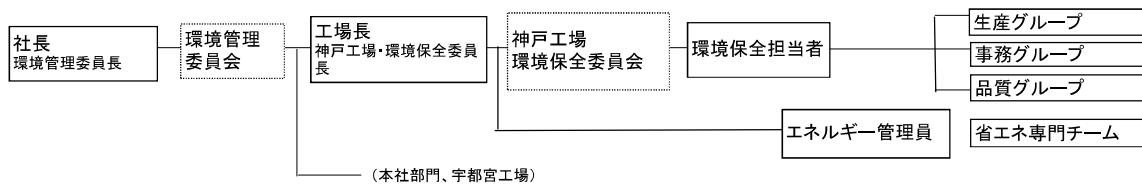
日清製粉グループ・ISO14001環境基本方針
[理念]

地球環境保全は、人類の生存と発展のための社会全体の課題であり、その社会の一員として事業を営む企業にとって、最重要の経営課題です。日清製粉グループは、「信を万事の本と為す」と「時代への適合」を経営の基本理念とし、「健康で豊かな生活づくりに貢献する」を使命として、当社が地球社会の一員であることの認識を深く持ち、地球的規模での環境保全を図りながら自由で活力ある企業活動を目指します。

[行動指針]

- ①製品開発、生産技術・設備技術の開発・設計にあたり、原材料調達・製造・販売・廃棄に至るすべての段階において、環境に十分配慮します。
- ②国内外の環境関連法規制及び企業行動規範を遵守すると共に、行政当局、国際機関等における環境政策に協力します。
- ③事業活動において、省資源・省エネルギー・廃棄物の削減・リサイクルを通じた環境負荷の低減及び大気・水質・土壌汚染の予防に取り組みます。
- ④職場の作業環境を向上すると共に、従業員に対し、環境保全に関する情報提供と教育を実施し、意識の向上を図ります。
- ⑤万一、事業活動において環境保全上の問題が生じた場合は、十分な情報公開を行うと共に、環境負荷を最小化するように適切な措置を講じます。
- ⑥地域社会の一員として、地域の環境保全活動に積極的に参画し、地域の人々の安全で豊かな暮らしに貢献します。
- ⑦海外事業の展開に際しては、現地社会の一員として認められるよう、現地の環境保全に十分配慮し、また、現地の要請に応えられるよう努力します。
- ⑧環境目標を設定し、定期的に見直しを行うことで環境保全の継続的改善を推進します。また、実行確認のために環境監査を実施します。

● 環境保全に関する組織



● 事業活動の環境への負荷

直近の実績/2018年度実績						
エネルギー使用	電力	7,042 kWh	資源ロスなど	廃棄物排出量	895 t	
	購入蒸気	12,577 t		有価資源排出量	316 t	
	軽油	0 KL		(換算係数)	食品リサイクル率	99%
	LPG	473 m ³				
	総エネルギー使用量	2,220 KL(原油換算)				
CO ₂ 排出	エネルギー起源排出量	4,997 t-CO ₂	省エネ法定期報告に基づく 電力 → 0.435 t-CO ₂ /千KWH 購入蒸気 → 甲南ユーティリティ報告値は 0.071 t-CO ₂ /t-蒸気 LPG → 排出係数2.999 t-CO ₂ /t-LPG			
	その他起源排出量	99 t-CO ₂				
	総排出量	5,096 t-CO ₂				

● 事業活動による環境への負荷量の管理目標

2019年度目標・計画			
改善活動対象		目標	目標の期待効果
生産活動	製造数量	需給計画に対応した安定生産	-
生産活動で使用するエネルギーと資源	エネルギーロス 使用資源のロス	電力・蒸気原単位の低減 廃棄物原単位の低減	業態変更後の標準的環境負荷の把握と安定稼働と高効率生産による環境負荷の低減

活動内容 (2018年度活動の継続)

- 設定したエネルギー起源CO₂排出目標の達成とCO₂排出原単位とエネルギー原単位の低減
- 廃棄物の削減による廃棄物原単位の低減
- 法令順守及びグループ方針・通達等への確実な対応

● 事業活動において、当該年度に取り組んでいく活動

2019年度環境保全活動・計画			
維持活動対象	期待効果	活動計画	
環境保全活動	緑地の維持	CO ₂ の消費	専門造園業者による構内緑地の維持、工場立地法に関わる緑地の維持
	周辺地域の美化	地域環境整備	4工区食品コンビナート定期清掃活動への参加、日常周辺清掃の実施
	給・排水	適正な取り扱い	月次で状況の追跡管理
	環境緊急事故対策	迅速な対応	防災・環境保全を目的とした関連訓練の実施
	古紙活用、紙使用節減	省資源	月次で状況の追跡管理
	教育活動	関係者の意識向上	従業員を対象とした関連実績の広報・啓発活動、関連する業者への啓蒙
	廃棄物管理	適正な処理	電子マニフェストによるマニフェスト管理、処分場視察、分別と置き場の整備
地球温暖化対策	一般電力の節減	省エネルギー	空調温度管理、照明点灯管理
	フロン使用機器の管理	適正な取り扱い	使用機器の定期的な管理、廃棄の際の管理

環境関連の法令に関わる届出・報告事項			
関連法令	届出先	内容	期限
エネルギーの使用の合理化に関する法律	関東経済産業局	定期報告書(全社実績を本社より報告)	2019年7月末
地球温暖化対策の推進に関する法律	関東農政局	抑制計画・実績の報告	2019年7月末
兵庫県 環境の保全と創造に関する条例	兵庫県・環境管理局	事業系一般廃棄物18年度実績と19年度計画	2019年5月末/現在完了
廃棄物の処理と清掃に関する法律	神戸市・環境局	定期報告書(全社実績を本社より報告)	2019年6月末
食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律	環境省関東地方環境事務所 農林水産省関東農政局	定期報告書(全社実績を本社より報告)	2019年6月末